



2020年11月1日
第55号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第1号

「駅業務執行体制の再構築」(磯子駅・石川町駅)

10月27日

に関する申し入れ団体交渉を行う! ②

(石川町駅)

1. 業務委託できる根拠を示すこと。

会社回答：お客さまのご利用実態や駅の業務実態等を総合的に勘案し決定した。

組合：営業費用の中で業務委託費が大きなウエイトを占めている。この時期に委託する必要があるのか。また、簡潔に聞くと何故石川町駅が委託なのか？

会社：周囲を取り巻く環境の変化、需給の関係、エルダーの雇用、考え方は変わらない。簡潔に言うのであれば、常時運転取扱いのない駅ということ。

組合：委託後もサービスレベルが低下しないのが前提であるが、本体と同じように対応できるのか？

会社：ステーションサービスは駅業務に特化した会社であり、しっかりと運営されている。接客も含めてサービスレベルが低下しているとは考えていない。

組合：2019年度の乗車人員約32,000人は委託の根拠になるのか？

会社：一つの切り口としてそのような数字は検討するうえで材料にはなるが、何人以上・何人以下で委託する・しないは決めていない。

2. 駅業務委託後の指揮命令系統について示すこと。

3. 深夜早朝時間帯などの異常時の取扱いについて示すこと。

会社回答

2項：業務委託実施後の運営体制については、株式会社 JR 東日本ステーションサービスで決定されることとなる。

3項：速やかに関係箇所へ連絡を行い、必要な対策をとることとなる。

組合：管理者は現行山手駅の管理者が石川町駅に移るという事か？また、管理者の勤務体系は？

会社：山手駅の管理者が石川町駅に移ると聞いている。勤務は日勤と聞いている。

組合：管理者を配置することだが、派遣される際の指揮者は本体か JESS か？

会社：指揮命令系統はそれぞれ JESS は JESS。本体は本体。支社社員が派遣され、そこに管内駅社員がいれば管内駅社員の指揮下となる。

組合：大規模な輸送障害・自然災害などの際、長時間停車の時には基本的には支社から応援が行くという事か？

会社：支社からの派遣実績がある。振替乗車の案内などが主となるが災害の規模などに応じて柔軟に対応する。規模は大きいもの・小さいものがあるが JESS でも対応できるように指揮命令系統が構築されている。

組合：JESS では降車誘導は教育されているか？

会社：されている。管理駅が駆けつけて一緒に降車誘導をすることは否定しないが、基本的にはお客さま案内である。委託駅の社員が降車誘導するケースもあり得る。抑止が完了していれば JESS 社員も線路に降りられる。本体の社員がいらないから行けないという事はない。

4. 業務委託後の地域との交流のあり方について示すこと。

会社回答：必要に応じて管理駅で対応を行っていく。

組合：近隣の学校などとの交流は、委託後も続けていくのか？

会社：業務委託をもって地域との連携をなくしていく考えはない。管理駅が責任をもって引き続き地域と連携していく。必要に応じて管内駅に対応してもらったり、JESS の管理者に対応してもらおう。本体と JESS で連携しながらすすめていく。